

シラバス

2021 年度

ビジュアルデザイン科グラフィックデザイン専攻2年

本物にふれる 本当の力をつける



学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科／ビジュアルデザイン科／研究科

履修ガイド

1 . シラバス・出講 表

- (1) 各授業のシラバス・出講表として授業内容の他、学習目的、予習、準備物、注意事項とともに評価方法および教員・講師の出講日も記載。授業の1週間前にはアトリエに出講表を掲示。また学校ホームページでも確認することができる。
- (2) 指導日以外は授業が休みということではない。指導日以外の日も各自で制作を進めること。授業期間で制作を行うことで時間数に基づき単位がそれぞれ設定されている。スケジュールを確認し、作品提出日をしっかりと守ること。
- (3) シラバス、出講表、年間行事は学校ホームページで閲覧できる。

＊年間行事の変更があった場合には、その都度更新される。

2 . 単 位

単位認定

- (1) 実技の場合、課題の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。学科の場合、試験、課題(レポート含む)等の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
- (2) 単位計算の基準=各授業科目(実技、学科共)に対する単位は週90分半期17週相当(25.5時間)の授業をもって1単位とする。

進級の単位数

本校の学生が進級するには、1年間の修得単位が32単位以上なければならない。

卒業・修了の単位数

本課程の学生が卒業するには3年以上在学し、かつ所定の96単位以上修得しなければならない。

研究科生は1年以上在学し、かつ所定の32単位以上修得しなければならない。

3 . 履 修

- (1) 授業について単位を修得するためには2/3以上の出席が必要となる。止むを得ず授業を欠席する場合、必ず事前に学校へ連絡すること。
- (2) 原則、指導日の授業開始時に出欠確認を行う。遅刻・早退は記録し、欠席扱いとなる場合がある。
- (3) 交通機関の遅れに関しては必ず遅延証明書を授業担当教員へ提出すること。
- (4) 学生の履修は在籍する科の指示に従い、受講する科目は原則として全て履修する。
- (5) 授業途中からの受講は原則として認めない。
- (6) 受講した科目は、原則として変更することはできない。
- (7) 選択を希望する科目で受講人数が多い場合は、人数制限を行う事がある。

4. 採点

- (1) 受講した科目は課題(レポート含む)を提出しなければならない。
- (2) 必要に応じて授業内で課題(レポート含む)提出を複数回、行うことがある。
- (3) 科目の採点は、授業終了時に行われる。
- (4) 採点の方法は課題(レポート含む)の提出を含む総合的な評価で採点する。 ※評価方法はシラバスに掲載
- (5) 受講した科目の出席日数が3分の2以上に満たないものは、原則として採点を受けることができない。

5. 追採点

病気その他やむを得ない事由により課題(レポート含む)を提出することができなかった者に対し、事前にその旨連絡のあった場合に限り、願い出により実施することができる。ただし課題(レポート含む)内容は授業内の課題(レポート含む)と異なる場合がある。

6. 採点基準

- (1) 採点は、60～100を合格とし、それ以下を不可とする。
- (2) 配点区分は次による。

採点	評価	
100～95	AA	合格
94～80	A	
79～70	B	
69～60	C	
59～ 0	D	不可
保留	－	仮処置

- (3) 採点保留(仮処置)による扱い

※学科において採点の結果、点数が59点以下の場合、不可となり原則として次年度以降において再履修となる。

※授業を担当する講師による採点が保留となった場合は、追課題(レポート含む)が課せられる。追課題の採点は専任の判断に委ねられ、成績会議によって認定される。

※修得単位数が1年次、2年次それぞれで15単位以下、または1・2年次を通じて合計32単位以下は留年となる。16単位以上で所定の32単位に足りない場合は仮進級という扱いになる。

7. 学 科 再 履 修

採点の結果、不可となった者は次年度以降において原則としてその学科目を再履修しなければならない。ただし、在籍学年の履修を優先とするため、履修科目の変更、または再履修年度の変更についての決定は学校の指示に従うこととする。

8. 仮進級／卒業・修了資格判定および卒業・修了判定

- (1) 本課程は前期、後期授業において学科・実技の履修状況の確認を学期末に学生・保護者に郵送する。

単位不足のある学生は学校の指示に従い、不足分の単位修得を行わなければならない。

- (2) 卒業・修了年次においては11月頃に卒業資格判定を行う。その際に出席など総合的に考慮した結果、卒業・修了資格無しと判定された者は卒業・修了制作を着手することができず、卒業および修了不可となる。
- (3) 卒業・修了判断保留の学生については卒業・修了制作作品提出後、卒業・修了判定を行い、単位の修得状況の他、卒業・修了制作規定違反など総合的に考慮した結果、卒業・修了不可となり、留年もしくは卒業・修了延期となる場合がある。
- (4) 学費において未納がある場合、卒業・修了判定において卒業・修了不可もしくは除籍となることもある。

9. 専攻を越えた授業

専攻を跨いで受講することが可能。ただし専任教員の許可が必要。

- (1) 授業開始の2週間前までに専任教員に「受講届」を提出、面談、了承を得てから受講すること。
- (2) 授業によっては、そこで使用する道具、機材やアプリケーションなどの関係で受講できないことがある。
- (3) 原則、自身の専攻を疎かにしない範囲での受講となる。
- (4) 「受講届」は学校ホームページよりダウンロードできる。

10. リモート（遠隔）授業

本校では対面授業の他にリモート（遠隔）授業を行う。

リモート授業はスマートフォンでの受講も可能であるが、可能であればPCやタブレットでの受講を推奨する。また、十分な環境が整っていない学生のために学校内に受講教室が用意されている。また、ネット環境が不安定で映像や音声が乱れるなどの恐れがある場合も学校内の受講教室での受講を推奨する。

リモート授業は以下の2タイプの授業形態である。

- (1) 「リアルタイム授業」はZoomを使用してリアルタイムに行う授業である。
- (2) 「オンデマンド授業」は創形特設ページ（非公開）にアクセスし、録画された動画を視聴

し、受講する授業である。

動画視聴は創形生のための非公開となる。パスワードは学外に漏れないように取り扱いには充分注意すること。

※授業の形態や授業の進め方に関しては授業担当教員から説明される。

リアルタイム授業の進め方

- (1) リアルタイム授業はあらかじめ Zoom をインストールして授業を行う。スマートフォンでも受講可能。
- (2) Zoom の表示名は必ず学籍簿登録の氏名とすること。学生登録名になっていない場合、欠席扱い、あるいは退出させることがある。
- (3) Zoom アカウントの ID とパスワードは事前に各授業ごとにメールで通達する。
- (4) 配布する授業資料がある場合は Zoom アカウントの ID などと共に連絡し、本校ホームページ、あるいは Google Classroom へ PDF でアップするか、登校時に配布する。受講生は事前に目を通し、場合によってはプリントアウトしておくこと。

資料を閲覧できるのは創形生のための非公開となる。取り扱いには充分に注意すること。

- (5) 授業は原則、通常の授業時間で行う。授業開始 5 分前までに準備し、接続すること。
- (6) できるだけ静かな場所で受講すること。また背景に映り込むものに不都合がないか確認を行うこと。

ハッキングや情報漏洩のリスク軽減のため、フリーWi-fi の使用は推奨されない。

- (7) ウェブカメラ付きのパソコンやスマートフォン等を使用し、カメラは必ず ON にし、マイクはミュートにして受講すること。質問など発言する際にマイクのミュートを解除して使用すること。発言する際には必ず教員の許可を得ること。
- (8) 教員への質問はチャット機能を使用するか、教員が許可した場合にマイクのミュートを解除して行うこと。

教員の音声途切れた場合なども同様に、チャット機能を使用するか、マイクのミュートを解除して質問または再度、話し直してもらうようお願いすること。

- (9) 授業時間内での Zoom での対応は教員の指示に従うこと。
一時的に Zoom から退出する場合は、担当教員に必ず許可を得ること。
- (10) 自宅のネット、パソコン環境が不十分な学生は本校アトリエにて受講すること。

また、リアルタイム授業終了後に次の授業までの登校時間が確保できない学生も同様に学校の指定されたアトリエにて受講すること。

※午前中に行う 3 時間の実技授業は 9:00 授業開始 12:00 終了とする。午後に実施する実技授業は 13:30 授業開始 16:30 終了とする。これは午後の対面授業の登校時間を確保するためである。午前中の実技授業において、登校時間がかかり午後の授業に間に合わない場合は、

教員に許可を願い出て早退することができる。ただしその場合は早退の時間に相応の宿題が出される。

リアルタイム授業の出欠・採点

- (1) 担当教員が Zoom で確認して出欠を取る。場合によっては Zoom の録画機能を使用することもある。
遅刻した場合は、チャットあるいは音声にて必ず担当教員へ申告すること。
また途中で退席は早退扱いとなることがあるので注意すること。一時的に Zoom から退出する場合は、担当教員に必ず許可を得ること。
- (2) 作品、レポートの提出は授業担当教員の指示に従って提出すること。採点は対面授業と同様の方法にて行われる。
- (3) データでの提出は担当教員の指示に従い、Google ドライブ、DropBox などで提出する事もある。
- (4) 作品データを添付する場合は 10MB 以内にすること。
10MB 以上のデータサイズの場合はオンラインストレージサービスなどを使用すること。以下参照。
オンラインストレージサービス <ギガファイル便>
<https://gigafile.nu/>
※1 ファイル=200GB まで可能。使用方法が分からない場合はメールにて学校へ問い合わせること。

オンデマンド授業の進め方

- (1) オンデマンド授業は、Gmail アカウントを使用する。
- (2) 創形特設ページ（非公開）にアクセスし、録画された動画を視聴して行う。スマートフォンでの受講も可能。
- (3) 創形特設ページのアカウントの URL や ID、パスワードなどを事前に通達する。
- (4) 授業動画は、各自でアクセスして視聴すること。
授業では 1 回の授業に対してレポートか作品制作などの提出物がある。提出日に注意し、遅滞なく提出すること。それらの提出が無い場合は受講したことにならないので注意すること。
- (5) 授業内で作品に対する講評やコメントに関してもオンラインで行うことがある。
- (6) 配布する授業資料がある場合は、創形特設ページのアカウント ID などと共に連絡し、本校ホームページ、あるいは Google Classroom へ PDF でアップするか、登校時に配布する。
受講生は事前に目を通し、場合によってはプリントアウトしておくこと。

動画視聴、および資料を閲覧できるのは創形生のための非公開となる。パスワードは学外に漏れないようにまた資料の取り扱いには充分注意すること。

- (7) 自宅のネット、パソコン環境が不十分な学生は本校アトリエにて受講すること。

オンデマンド授業の出欠・採点

- (1) 授業の形態や授業の進め方に関しては授業担当教員から説明される。
- (2) 授業の出欠は作品、レポートなどの提出物が期限内に提出されたことの有無で担当教員が取る。
- 期限内に必ず提出すること。
- (3) 作品、レポートの提出は授業担当教員の指示に従って提出すること。採点は対面授業と同様の方法にて行われる。
- (4) データでの提出は担当教員の指示に従い、Google ドライブ、DropBox などで提出する事もある。
- (5) 作品データをメールに添付する場合は 10MB 以内にすること。
- 10MB 以上のデータサイズの場合はオンラインストレージサービスなどを使用すること。(上記参照)

リモート授業における禁止事項

- (1) ビデオ通話、音声通話の、録画・録音・撮影は禁止。また転記することも禁止。
- (2) 許可なく誰かを同席させるのは禁止。もしも同席を希望される場合は、事前に教員の許可が必要。

11. 授業単位サポート制度

「授業単位サポート制度」とは単位修得をサポートするための制度。いずれも専攻担当専任教員と面談を通じて認定される。

代替授業、学外活動を通じて認定

- (1) 所属専攻、該当学年の授業以外の授業を受講することによる単位修得（単位数：受講授業単位に準ずる）
- ※所属専攻の授業と重複した場合は受け入れ授業の担当教員の許諾により、途中からの受講、中抜けも認め、その場合のみ出席扱いとする。
- (2) インターンシップに参加、レポートを提出することによる単位修得（単位数：1 単位）
- ※2 年次の「インターンシップ」の授業と同様のインターンシップを、授業以外の期日に行った場合に認める。「インターンシップ」の授業同様に書類、レポート提出が必須。採点方法は受入会社の評価に従い採点。
- (3) ボランティア活動などによる単位修得（単位数：活動期間に準ずる）

※単位認定は原則、実質1日8時間のボランティア活動を5日行う事で1単位とする。事前に専攻担当専任教員による面談を行い、ボランティア活動を行った後に「ボランティア活動報告書」の提出をもって認定。採点評価。

認定されるボランティア活動に、豊島区の国際アート・カルチャー活動を含む。

- (4) 学外コンペに出品することによる単位修得（単位数：1単位）

※専攻担当専任教員にコンペの内容を事前に報告し、出品前に専攻担当専任教員の講評を受けて出品すること。ただし授業の一環として行われたコンペの出品は認められない。

例：「JAGDA 学生グランプリ」「アワガミ国際ミニプリント展」「回遊美術館」
「GU タペストリーコンペ」etc

特別支援授業を通じて認定

特別支援授業を受講することによる単位修得（単位数：各1単位）

受講料：1講座 15,000円 / 採点方法：提出作品、試験、レポート等によって採点。

※特別支援授業とは、単位取得を支援するために行われる授業。春期休暇、夏期休暇に実技授業・学科授業が開設。授業日の前の週までに事務局窓口で受講することを告げ、受講料を支払うことにより受講が認められる。

12. 参 考 作 品

提出のあった課題作品、およびレポートについては原則として採点終了後、すみやかに返却を行う。場合により参考作品として一定期間預かり、授業の資料として授業時やガイダンスなどで使用する事がある。また、学校案内用の印刷物や広報（ホームページ、SNS など）および学校外など授業以外での目的で作品を使用する事がある。

13. 各種書類

各種届け出、証明書の発行は本校事務局にて受け付ける。

ダウンロードが「可」の書類は学校ホームページよりダウンロードできる。(創形ホームページ → 学生生活 → スクールガイド →)

各種届け出

種 類	提出先	本人印	保証人印	ダウンロード
住所変更届	事務局	要	不 要	可
受講届	教務	不 要	不 要	可
欠席届	教務	要	要	可
感染症登校許可書	教務	不 要	不 要	可
忌引届申請書	教務	要	要	可
学籍異動申請書	教務	要	要	可
休学届	教務	要	要	可
復学願	教務	要	要	—
退学願	教務	要	要	—

証明書関係

種 類	交付日	申込先	手数料
在学証明書	2 日後	事務局	500 円
卒業証明書	2 日後	事務局	500 円
卒業証明書（英文）	7 日後	事務局	1,000 円
卒業見込証明書	2 日後	事務局	500 円
修了証明書	2 日後	事務局	500 円
修了証明書（英文）	7 日後	事務局	1,000 円
修了見込証明書	2 日後	事務局	500 円
成績証明書	7 日後	事務局	500 円
成績証明書（英文）	7 日後	事務局	1,000 円
再発行学生証	3 日後	事務局	1,000 円
推薦書・学校証明・編入学基礎資格証明など	7 日後	事務局	500 円
学生証明など	7 日後	事務局	500 円

勤労学生控除・資格変更書類など	7 日後	事務局	500 円
出席証明書	7 日後	事務局	500 円
学生旅客運賃割引証（学割証年間 3 枚まで）	1 日後	事務局	無料

※上記証明書において学費未納の場合は発行不可。

*新型コロナウイルスの感染症拡大の影響に伴い授業日程（時期・期間・時間帯など）、授業内容、使用アトリエなどが変更になることがあります。詳細は出講表を確認してください。

ビジュアルデザイン科グラフィックデザイン専攻

シラバス

前期学科授業名：「色彩論Ⅱ」 担当講師：岩崎沙織

授業期間：2021/04/14(水) - 2021/09/22(水)

学習目標：配色の応用やUC（色のユニバーサルデザイン）など、より実践的な色の知識・テクニック習得を目指します。色彩調和や配色イメージを活用した作品制作を行い、色で表現する力と色を伝える力を身につけます。

授業内容：デザインにおける色の役割、UC（色のユニバーサルデザイン）、色彩調和、配色イメージの講義・課題制作。色の効果を活用した作品の制作・発表 ※AFT 色彩検定2級・UC級対応

選択学科(前期・後期)授業名：「フランス語Ⅱ」 担当講師：内田雅之

授業期間：2021/04/17(土) - 2022/01/22(土)

学習目標：フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。

授業内容：前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。

授業名：「特別講座/就職セミナー」 担当講師：ゲスト講師

学習目標：特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。

就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。

授業内容：6/26(土)就職セミナー、9/10(土)就職セミナー、9/4(土)就職セミナー、9/24(金)海外留学準備担当講座、10/1(金)海外留学準備担当講座、10/9(土)同窓会特別講座、12/30(土)就職セミナー、12/11(土)創形展特別講座、2/12(土)就職セミナー（就活ポートフォリオ）＊日程は出講表を確認してください。

前期実技授業名：「デザインプロセス」 担当講師：松蔭浩之

授業期間：2021/04/12(月)－ 2021/09/13(月)

学習目標：一年次のP C実習の履修度の確認と、さらなるスキルアップをはかる。デジタルカメラ撮影法とあわせ、Adobe 社のイラストレータとフォトショップを駆使し、デザインワークの領域を拡大する。後半は「セルフポートレート」を使用した CD ジャケット制作に取り組む。

授業内容：「写真」を使った「CDジャケット」のデザインと、DTP印刷納品までのプロセスを享受。講義とワークショップを毎回繰り返しながら、CDというフォーマットで作品を完成させる。

前期実技授業名：「企画制作実習」 担当講師：山本哲次

授業期間：2021/04/12(月)– 2021/09/25(土)

学習目標：社会におけるデザインの役割を理解し、自分の可能性を見いだすことを目標とします。「情報」を分析し、整理整頓して「デザイン」というカタチに構築し直すことを理解すること。また制作体験を通して作品制作に自信を持ち、自主的に制作できることを目標とします。

授業内容：新しい美術館の企画を立て、そのロゴマークが入ったグッズとフライヤーを完成させます。情報収集、分析評価を行いながら企画立案、アイデア出し、制作、展開まで体験し、更に試作や検証を繰り返すことにより作品の完成度を上げることを学びます。また、授業内で現在のデザイナーの役割や制作方法などの講義を行います。

前期実技授業名：「タイポグラフィ基礎」 担当講師：小田敬子

授業期間：2021/04/13(火)– 2021/09/22(水)

学習目標：フォント制作においてブラッシュアップを繰り返し、質のこだわるデザインマインドを身に着けます。

授業内容：欧文フォントのデザインにおいて、アイデア、ルール作りから精緻化までの一連の流れを学びます。

前期実技授業名：「メディアブランディング基礎 A」 担当講師：高林直俊

授業期間：2021/04/13(火) - 2021/06/08(火)

学習目標：各メディアの特徴・特性を理解します。また実践的なクライアントワークを通して、自分のスキルや現状の立ち位置を把握します。

授業内容：各メディアの特性や相互関係などを把握し、クライアントワークに取り掛かる前のベースを学びます。

また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。

前期実技授業名：「広告デザイン基礎」 担当講師：原口昌彦

授業期間：2021/04/15(木) - 2021/06/17(木)

学習目標：将来プロになるための基礎的な要素を実践形式で行う。企画、立案、設計に必要なアイデアの構築と、その仕組みをブランディング・デザインをベースに展開する。

授業内容：各テーマごとに実践形式の課題を出し問題点の抽出と改善を、制作を通して各自が発見できるワークフローを身につける。制作後プレゼンテーション・講評を実施。

前期実技授業名：「描写イラストレーションA」 担当講師：関根秀星

授業期間：2021/04/16(金) - 2021/06/11(金)

学習目標：モノの本質的、外見的な観察力を養い、正しいプロポーションで描く。インプットからアウトプットへ、表現における一連の作業の大切さ、方法を学ぶ。講評により、自作品を客観的に見る力をつける。

授業内容：鉛筆を用いてモチーフを描く。最終課題では画面構成や見せ方も意識し、作品としての高い完成度を目指す。

前期実技授業名：「映像ワークショップ」 担当講師：三田村光土里

授業期間：2021/04/17(土) - 2021/07/17(土)

学習目標：現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。

授業内容：フォト・ストーリーをつくろう

前期実技授業名：「メディアブランディング基礎 B」 担当講師：馬谷浩樹

授業期間：2021/06/15(火) - 2021/09/21(火)

学習目標：新規授業のため後日更新

授業内容：新規授業のため後日更新

前期実技授業名：「描写イラストレーション B」 担当講師：須田浩介

授業期間：2021/06/18(金) - 2021/09/17(金)

学習目標：対象物をよく見る事でその物の持つ色や質感などを捉え、アクリル絵の具を混色する事や、色を重ねる事で生の絵の具やデジタルでは生み出せない色を自らの手で作り対象の持つ色の再現度を高める事を目指します。

授業内容：水張りした紙、アクリルガッシュ、筆を使用し用意したモチーフをカラーで描く、絵の具を使う時のルールを授業時に指示します。イラストレーションにおけるリアリティーと想像で描く事とモチーフを見て描く事の違いを考え学ぶ。

前期実技授業名：「エディトリアルデザイン基礎」 担当講師：奥定泰之

授業期間：2021/06/24(木)– 2021/09/16(木)

学習目標：「読むこと／見ること」をどうデザインでコントロールするかを意識しながら、エディトリアル作品を制作する。また実際の制作現場に対応できるような、素材や構造、印刷方法なども身につける。

授業内容：InDesign というアプリケーションを使って、レイアウト、素材、構造などを意識しながら、冊子形式のエディトリアル作品を試作する。

後期実技授業名：「ブックデザイン」 担当講師：守先 正

授業期間：2021/09/27(月)– 2021/10/16(土)

学習目標：インデザインの操作を習得して、文字組みの基本を学習します。使用する紙のことまで考えて、本が1冊どのようにしてできあがるのかを学習します。

授業内容：自分が気になる小説を選びます。どういう書体を使って、どういうふうに文字を組むのか。内容にふさわしい本文の組み方をインデザインを使って実習します。四六判の本のカバーまわり（カバー、オビ、表紙、見返し、別丁とびら）のデザインをします。

後期実技授業名：「マーケティング」 担当講師：山本哲次

授業期間：2021/10/01(金)– 2022/02/04(金)

学習目標：お店の企画立案から広告デザインまでの制作を通して、企画・戦略・表現の関係を学習します。特にこの授業では、ビジネスにおいて最も重要視されるマーケティングを学び、表現メディアに求められる本質とその役割についてを学びます。将来、職種を広げた場合でもビジネスを生み出していく力をつける授業です。

授業内容：グループで制作する授業です。経営のかんばしくないお店を立て直す戦略を練り、企画立案・媒体計画を立て、広告デザイン案の制作を行い、プレゼンテーションまで行います。また、授業内でマーケティングやアイデアの出し方、美しい表現のポイントなどについての講義をします。企画の立て方や制作プロセスは、授業の中で説明します。

後期実技授業名：「デザインとアート」 担当講師：松蔭浩之

授業期間：2021/10/04(月)– 2021/11/22(月)

学習目標：現代美術の世界をわかりやすく解説。特にデザイン的に重要と考える作家と技法を紹介し、実践を試みる。

授業内容：美術史の流れの中で生まれた技法や手法を用いて、今までの自分とは異なる“変わった”作品を制作。座学とワークショップ形式の授業から現代美術を体感する。

後期実技授業名：「ブランドプロデュース」 担当講師：田中北斗

授業期間：2021/10/05(火)– 2022/02/01(火)

学習目標：ブランド全体のデザイン、ディレクション力、プロデュースを経験し、企画～デザイン制作を総合的に行い幅広いスキルを身につける。

授業内容：各自の身近な産業や特産物などを題材にし、商品としてのブランド作りから小型グラフィックデザインまでを提案する。

- ①世の中の小型グラフィックデザインを検証。
- ②身近な産業や特産物を知る。
- ③ブランディングのプラン作り。
- ④小型グラフィックデザイン制作。
- ⑤プレゼンテーションによる発表と講評

後期実技授業名：「WEBコミュニケーション(先端メディア アート&デザイン)」

担当講師：秋山カズオ、中須賀美和子

授業期間：2021/10/06(水)– 2022/02/02(水)

学習目標：WEBメディアを利用したコミュニケーションの基礎知識を理解していきます。最新のトレンドを理解し、伝わる表現や使いやすいWEBデザインの習得を目標とします。

授業内容：WEBのトレンドやルールを知識として学習するだけでなく、WEBサイトの背景にある想いやメッセージをトークショーやグループワークなどを通して理解していきます。

最終的にはWEBサイトの制作を行い、実践的なスキルの習得を目指します。

後期実技授業名：「広告デザイン」 担当講師：近藤 忠

授業期間：2021/10/18(月)－ 2021/11/10(水)

学習目標：新規授業のため後日更新

授業内容：新規授業のため後日更新

後期授業名：「デザインの仕事と現場」 担当講師：大久保裕文

授業期間：2021/10/21(木)－ 2022/02/03(木)

学習目標：印刷媒体を中心としたグラフィックデザインのアイデアや実際の作業の説明。

授業内容：いままで経験したデザイン事例の解説。数回、編集者やカメラマンを呼んで、彼らとの仕事の関連事例を伝える。課題としては街の風景写真、フライヤー制作、アルファベットのタイポグラフィ制作など。

後期実技授業名：「リ・デザイン」 担当講師：田中北斗

授業期間：2021/11/11(木)– 2021/12/04(土)

学習目標：世の中にある様々なパッケージデザインを考察し、リランディング 及び パッケージデザインのリニューアルに挑戦します。

リニューアルへむけた商品の企画（ターゲット再考、コンセプトの立案）、パッケージデザイン、構造の再検討など

既存の商品パッケージを題材に、幅広い知識やデザインスキル（グラフィック及びプロダクトデザイン）を学びます。

授業内容：授業前半で、課外授業を実施。毎年開催される「日本のパッケージデザイン展」を訪れ、日本三大パッケージコンペティションでの入賞・受賞作品より、プロのアイデアやデザインを考察します。その後、各自、リニューアルの題材となる商品パッケージを決め、リニューアルコンセプトへデザインを制作。モックアップ（パッケージダミーの工作）と企画書を制作し提出します。

後期実技授業名：「アートディレクション」 担当講師：大石恵美子

授業期間：2021/12/06(月)– 2022/01/15(土)

学習目標：アートディレクションの根幹である「ビジュアルでコミュニケーションをする」ための3つの基本的な力を養います。①柔軟な発想力 ②幅広い表現力（得意な技法を極め、不得意・未知の分野に挑戦する）③物量を克服する持久力と執着心

授業内容：1つのテーマから100種類のビジュアルを作ります。

後期実技授業名：「ポスターデザイン」 担当講師：草谷隆文

授業期間：2022/01/17(月)– 2022/02/05(土)

学習目標：今まで学んだテーマから、タイポグラフィを主体としたポスター作り。B全もしくはB倍の大型ポスターを作る事により、文字のディテールを追求、研究する。

授業内容：各自、漢字、カタカナ、ひらがな、アルファベットを1文字選び、文字の持つディテールを研究しつつ、ファインアートを取り込んだポスター作品を制作。指導者も同時に制作し、おのおのディスカッションをして進めていく。企画のたて方や進め方は授業の中で説明。

後期実技授業名：「就活ポートフォリオ(就職支援カリキュラム)／インターンシップ」

担当講師：上野仁志、山本哲次

授業期間：2022/02/07(月)– 2022/02/26(土)

学習目標：仕事に対する意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。

インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。

授業内容：自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。

就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）

学校法人高澤学園

創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <https://www.sokei.ac.jp/>

E-mail: sokei@sokei.ac.jp